

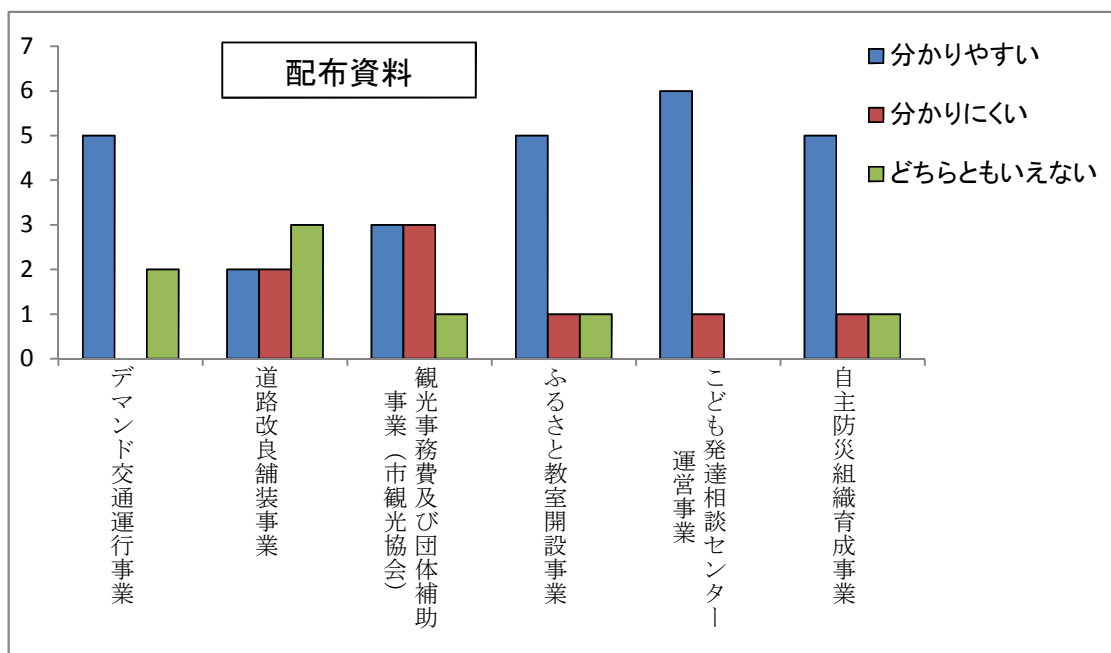
平成27年度那珂市外部評価 市民判定人アンケート集計結果

実施時期 平成27年10月17日～10月23日
 実施方法 外部評価当日に配布し、郵送により回答

対象者数 7人
 回答者数 7人
 回答率 100.0%

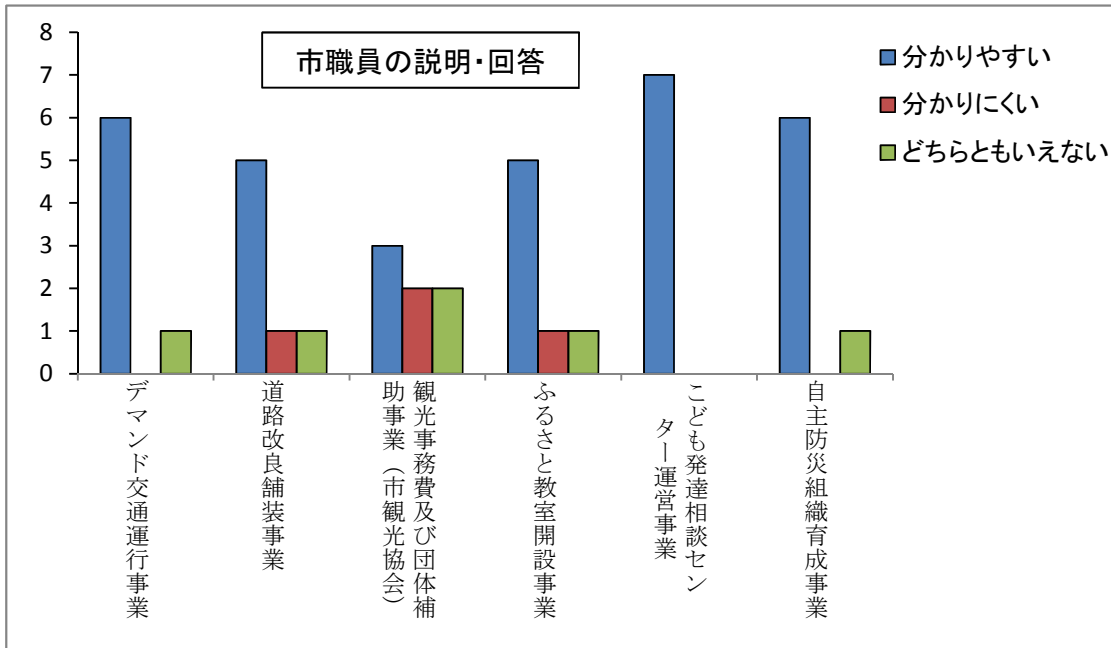
1 資料（事務事業評価シート・添付資料）は分かりやすかったですか

事業名	分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	回答数
デマンド交通運行事業	5		2	7
道路改良舗装事業	2	2	3	7
観光事務費及び団体補助事業（市観光協会）	3	3	1	7
ふるさと教室開設事業	5	1	1	7
こども発達相談センター運営事業	6	1		7
自主防災組織育成事業	5	1	1	7



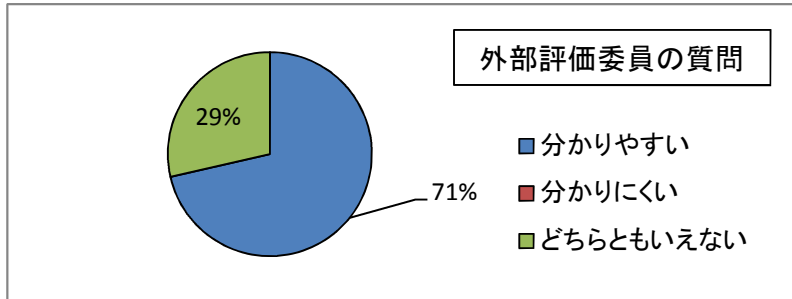
2 市職員の説明・回答は分かりやすかったですか

事業名	分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	回答数
デマンド交通運行事業	6		1	7
道路改良舗装事業	5	1	1	7
観光事務費及び団体補助事業（市観光協会）	3	2	2	7
ふるさと教室開設事業	5	1	1	7
こども発達相談センター運営事業	7			7
自主防災組織育成事業	6		1	7



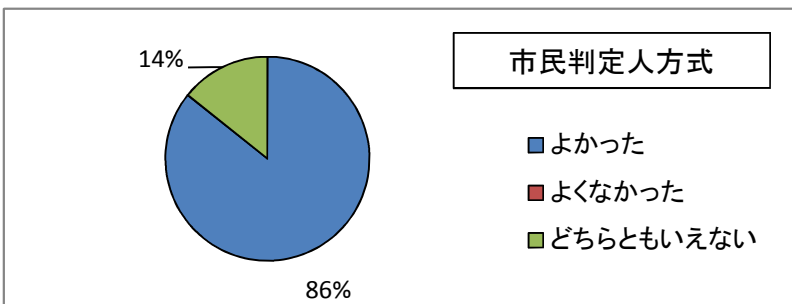
3 外部評価委員の質問は分かりやすかったですか

分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	回答数
5		2	7



4 市民判定人が事業を判定することについて、どのように感じましたか

よかった	よくなかった	どちらともいえない	回答数
6		1	7



(理由・自由記述欄)

1 事前配布した資料（事務事業評価シート・添付資料）は分かりやすかったですか。

- 最初の資料では、事業を考えるうえで知りたい資料があったが、質問文を提出した結果、追加資料が出されて、事業を考えるうえで役に立ち、分かりやすくなった。
- 基本的に文字が細かすぎ。罫線との判別がしづらい。
- ・（デマンド交通運行事業）日常生活の移動に支障をきたしているのに、登録し、乗降場所が必要か説明がない。売上額がない。
・（ふるさと教室開設事業）歴史や自然に触れさせ、郷土愛をつちかうのは、小学生には早い。
- ・（道路改良舗装事業）未完了に対しての説明がない。
・（観光事務費及び団体補助事業）切り離して考える必要性が資料から得られない。
- ・（道路改良舗装事業）平成26年度の工程・数値が抽象的で分からなかった。今年度の工程は具体的に記載してほしい。

2 担当課（説明者・職員）の説明や回答は分かりやすかったですか。

- 各事業とも、ていねいな説明で分かりやすかった。
- （分かりやすかった）事前質問等の対応で準備されていた様子。
- （観光事務費及び団体補助事業）内容・事業がダブっている。なぜ両事業者で話し合わないのか。
- ・（観光事務費及び団体補助事業）説明を聞いても、観光事務と観光協会に切り離す絶対的な理由が理解できなかった。
・（ふるさと教室開設事業）説明が、ふるさと教室の理念からずれているように思えた。
- （道路改良舗装事業）平成26年度の工程・数値が抽象的で分からなかった。今年度の工程は具体的に説明してほしい。

3 外部評価委員の質問は分かりやすかったですか

【分かりやすかった】

- 質問していることは分かったが、市民判定人としては、もう少し別の角度から見て事業を考える質問が欲しかった。那珂市以外のかたが評価委員なので、那珂市について知らないでの質問も見られた。
- 疑問に思ったことを全部聞いていただけた。
- 幅広く仕事を知っており、的確な質問で良かった。

【どちらともいえない】

- 良い部分と足りない部分があった。他の事例や、もう少し広い（多くの）自治を見ている人が必要と感じました。
- 資料で理解可能。

4 「市民判定人」が事業を判定することについて、どのように感じましたか

【よかった】

- 市民判定人は意見は述べられないので、外部評価委員の話し合いと聞き、資料・担当職員の説明を参考に判定するという形でしたが、各事業の意義・必要性について考えさせられ、勉強になりました。
- 外部評価委員会を立ち上げたことは、一般市民が行政に参加できる。市民のための行政ができると思います。
- 直接のやりとりだけでなく、それを第三者的に見て、ワンクッション置いて判断する形は、冷静に見極める手段として有効だと感じました。
- 役所にあまり行ったことがなく、仕事内容も分からなかったのも、難しかった。
- さまざまな見方ができていたように思います。
- 素人の素直さ、理解不足。

【どちらともいえない】

- 市民判定人の数が少なすぎる。事前にもっと勉強する時間が必要（事前説明会欠席者に送付されたDVDの提供は良かった）。

5 市民判定人に応募した理由を差支えない範囲でご記入願います

- 無作為で選ばれて、今まで市の事業にかかわりがなく、外部評価委員会についても知らなかったなので、参加して実態は知っておくべしと思い、応募しました（市が以前、事業仕分けをしたことは話に聞いて知っていました）。
- 何もわからず、外部評価委員会は何事をするのかと思い、応募しました。
- 仕事も休みで、お断りする理由もなかったため。
- 役所の仕事はどのように進めているのか知りたかった。今度は傍聴者として参加したいと思います。
- 関東地区、北日本、九州の自治を見ており、少し地元を良くできるかと思いました。
- 滅多に経験できない機会なので、人生勉強のつもりで応募した。
- 偶々。

6 外部評価に関して、お気づきの点があればご記入願います

- 市の税金で事業が運営されていることを考えれば、市民のために無駄なく行われているが、議会のほかにこのような形で評価が行われるのは良いと思う。外部評価ということで、那珂市以外のかたが評価委員となるのか、もう少し那珂市を知っている那珂市民はなれないのかが気になりました。
- 継続していただきたい。
- 各事業、とても一生懸命取り組んでくださっているのを感じ、市民として嬉しく思いました。しかし、一生懸命ゆえに見えなくなっている事例もあるのでは？ と考えると、外部からの評価は正しく運営していくために必要不可欠であると認識いたしました。
- 外部評価によりコスト意識を持って仕事を進めることができると思う。事業内容によっては現場を見ることにより、さらなる評価ができると思う。
- 4年目とのことですが、継続していかないと、職員のレベル（情報展開力）が上がらないと思います。
- 600名のなかから選ばれたのかと思っていたが、7名だけの応募とは驚いた。第1回外部評価委員会の要旨にある「20名でも30名でも対応できる

ので、よろしくお願ひしたい」との意見は無視されたのか。催促する等の努力はしたのだろうか。5名だったらどうしたのか。3名だったらどうしたのか。20名の過半数が、特殊な思想を持つとは考え難いが、5名の過半数が危険な思想や主義をもつことはあり得る。10名以下なら開催を注視するとかのルールが必要。少人数で、株主総会で言うところの「シャンシャン総会」にし、開催したことの既成事実を作るための手助けをしたような気分が不快。でも、やっていることは評価できると思う。参加させてもらって良かった。

- 継続希望。

7 那珂市の行政に関してご意見があれば、ご自由にお書きください

- 那珂市ではこどもの数の減少ということで、学校の統合、廃校が見られるが、私の地域（芳野地区）では、結婚をしない男女がたくさんいて（20～40代）、どこの家庭でも何人かはいる。年頃といわれる男女が未婚では、こどもの数は当然減少していく。地域のシンボルとなる学校がなくなるのはさびしい。なんとか手だてを工夫して欲しい。一方で、空き家も耕作しない農地も問題だと思う。
- 海野市長になり、市役所の窓口時間、外部評価等、市民のために改革されて良い。
- 市として単独で頑張るのではなく、たとえば衰退していつている地域の事業や団体などにどんどん働きかけをしてくだされば、相乗効果が得られるのではと思いました。
- 外部評価により、目先だけではなく、将来を考えた仕事を進めていると思います。ただ、今も昔のままのところがある。特に道路の舗装は市民が困っているところを優先して実施してほしい。なぜここが、と思うところがあるから。
- 福祉のまちを、もっともっとアピールしても良いのでは。広域自治体・国家機関の連携事業を、もっともっと持ち込むべき（さまざまな予算を取り込みましょう）。
- 2005年に転居したときにあった、原子力の庁舎横断幕はどこへ？